

教科目名 哲学概説 (Philosophy)

学科名・学年 : 全学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 科目)

単位数など : 選択必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 学習保証時間 45 時間)

担当教員 : 堀 栄造

授業の概要			
西洋現代哲学を概説する。プラグマティズムや新實在論や分析哲学といった英米哲学, 生の哲学や現象学や実存哲学といった独仏哲学について概観する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1)西洋現代哲学を概観することによって, 哲学的思考の仕方を理解する。(定期試験)			
(2)我々にとって異文化といえる西洋の思考および西洋の文化に接し, 地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付ける。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	プラグマティズム (パース)	パース, ジェイムズ, デューイの哲学について理解できる。 ラッセル, マッハ, ヴィットゲンシュタインの哲学について理解できる。 フォイエルバッハ, マルクスの哲学について理解できる。	【理解の度合い】
2	同上 (ジェイムズ)		
3	同上 (デューイ)		
4	新實在論 (ムア・ラッセル)		
5	分析哲学 (マッハ・ヴィットゲンシュタイン)		
6	弁証法的唯物論 (フォイエルバッハ)		
7	弁証法的唯物論 (マルクス)		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	ショーペンハウアーの哲学について理解できる。 ニーチェの哲学について理解できる。 ベルクソン, デイルタイの哲学について理解できる。	【理解の度合い】
10	生の哲学 (ショーペンハウアー)		
11	同上 (ニーチェ)		
12	同上 (ニーチェ)		
13	同上 (ベルクソン)		
14	同上 (デイルタイ)		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
16	前期期末試験の解答と解説	フッサールの哲学について理解できる。 シェラー, メルロー・ポンティの哲学について理解できる。 キルケゴール, ヤスパースの哲学について理解できる。	【理解の度合い】
17	現象学 (フッサール)		
18	同上 (フッサール)		
19	同上 (フッサール)		
20	同上 (シェラー)		
21	同上 (メルロー・ポンティ)		
22	同上 (ヤスパース)		
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説	ハイデガーの哲学について理解できる。 サルトルの哲学について理解できる。 フロイトの精神分析学について理解できる。	【理解の度合い】
25	実存哲学 (ハイデガー)		
26	同上 (ハイデガー)		
27	同上 (サルトル)		
28	同上 (サルトル)		
29	精神分析学派 (フロイト)		
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
31	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	ノートをしっかり取り, 質疑応答などは積極的に発言すること。		【総合達成度】
教科書	プリント配布。		
参考図書			
関連科目	哲学特論 (専攻科 2 年), 哲学特論 (専攻科 2 年), 倫理 (2 年)。		
総合評価	定期試験により評価する。評価が 60 点以上を合格とする。		
			【総合評価】 点

教科目名 歴史学概説 (History)

学科名・学年 : 全学科 5 年 (教育プログラム 第2学年 科目)

単位数など : 選択必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 学習保証時間 45 時間)

担当教員 : 田中美穂

授業の概要			
中世から現代までブリテン諸島の歴史を中心に,各地の「ネイション」意識の形成やナショナリズムの動き,民族紛争に注目しつつ講義する.中世の王国から近世の主権国家へ,さらには世界一の帝国へと変貌するイングランドと,「ブリテン」という枠組みの中でイングランドに取り込まれていくウェールズ,スコットランド,アイルランドとの関係を見ていく.また,同時代のヨーロッパを中心とした世界の国々の動きについても,適時取り上げていきたい.			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) ブリテン諸島,およびヨーロッパの国々の多様性,および「ネイション」意識やナショナリズムの動きについて理解する.(定期試験)			
(2) 帝国主義の時代が生んだ負の遺産である民族紛争が起こる原因,および紛争解決に向けた取り組みについて理解する.(定期試験)			
(3) 講義内容から選んだ歴史的なテーマについて考え,論述する力を身につける.(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	ブリテン諸島について 中世のイングランド 中世のウェールズ 中世のスコットランド 中世のアイルランド ヴァイキングとノルマン人 「アーサー王」伝説	「イングランド中心史観」を克服する「ブリテン諸島史」の重要性について理解できる. ブリテン諸島のそれぞれの地域の王国形成史について理解できる. 「アーサー王」をめぐる史実と伝説の違いについて理解できる.	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 十字軍:ヨーロッパとイスラーム世界 百年戦争 近現代のブリテン諸島(1) 近現代のブリテン諸島(2) ヨーロッパの革命と主権国家の成立	十字軍を通して,ヨーロッパとイスラーム世界との関わりについて理解できる. 現在につながるブリテン諸島各地の「ネイション」意識について理解できる. 革命を通して主権国家が形成されていく過程を理解できる.	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
16 17 18 19 20 21 22	前期期末試験の解答と解説 帝国主義と植民地 第一次世界大戦 アイルランドの独立 第二次世界大戦(1) 第二次世界大戦(2) ヨーロッパの民族紛争(1) ヨーロッパの民族紛争(2)	帝国主義の問題点について理解できる. 植民地とされた国々が独立を達成するまでの過程を理解できる. ヨーロッパ各地のナショナリズムの動きについて理解できる.	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24 25 26 27 28 29	後期中間試験の解答と解説 ブリテン関連地域の民族紛争(1) ブリテン関連地域の民族紛争(2) 北アイルランド紛争 ブリテン諸島の階級社会 現代のブリテン諸島の文化	現在の問題でもある,ブリテンの旧植民地や旧委任統治地域(パレスチナをはじめとする中東)の民族紛争について理解できる. ブリテン諸島の現在の諸問題について理解できる. 世界各地で非戦・紛争解決のために行われてきた取り組みについて理解できる.	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
30	後期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意	講義中に話す内容について,各自でしっかりノートまとめをすること.		【総合達成度】
教科書	毎回,レジュメや資料を提供する.		
参考図書	毎回,授業で紹介する.		
関連科目	歴史学特論 (専攻科1年),世界史(2年),日本史(1年)		
総合評価	1回の欠席につき2点を減点.4回の試験の平均点から欠席回数×2点を減点して総合評価を出す.ただし,病気など特別な理由で欠席した場合は,申し出れば減点対象とはしない.総合評価60点以上が合格.		【総合評価】 点